

### 第3章 生きがい活動と社会参加の促進

#### 1. 趣味や交流・生きがいづくりの促進

##### 《 現 状 》

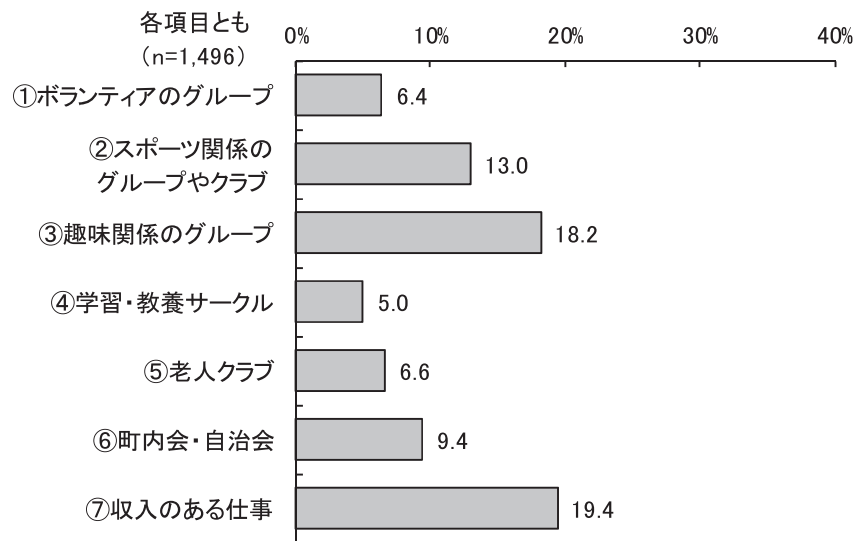
高齢者が心身ともに健康に、かつ充実した生活を送るためには、生きがいづくりが大切です。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査によると、要介護認定を受けていない高齢者の1割強～2割弱はスポーツや趣味等のグループ活動に月1回以上参加しています。その一方で、閉じこもり傾向にある人も2割を超え、年齢が上がるにつれ閉じこもり傾向にある高齢者の割合も多くなるなどの課題も見受けられます。

本市では、人との交流が少なく、閉じこもりがちな高齢者等の居場所づくりとして、地域の関係者等との連携のもと、いきいきサロンの拡充に取り組んでおり、2016（平成28）年度では市内221ヶ所で実施されています。また、老人クラブが約100団体あり、スポーツ事業や高齢者料理講習会等の様々な取組を行っています。

今後も地域と連携しながら、このような高齢者の生きがいにつながる趣味や交流、生きがいづくりの場の拡充に取り組むことが必要です。

【高齢者の地域活動・趣味活動への参加状況（月1回以上参加している人の割合）】



資料／介護予防・日常生活圏域ニーズ調査[2017（平成29）年8月]

##### 《 今後の取組 》

#### (1) 高齢者の外出促進

高齢者の外出を促し、人や地域の交流を深めるため、老人クラブや地域福祉ネットワーク委員会等と連携して、いきいきサロンや世代間交流事業等の場に参加を働きかけ、引きこもりや孤立の予防と健康増進に努めていきます。

## (2) 老人クラブの育成

老人クラブは地域の自主的な活動組織であり、「健康・友愛・奉仕」の三大運動を柱に活動を推進しています。高齢者の生きがいつくりや高齢者の健康づくり、地域の安全、安心を支える支援活動に取り組む老人クラブに対して、魅力ある老人クラブの育成のため、加入促進および活動の支援に努めます。

## 2. 高齢者の活躍場面の開発・拡大

### ◀ 現状 ▶

高齢者がそれまで培った経験や知識等を活かして仕事やボランティア等の担い手として活動することは、本人の生きがいつくりとしてだけでなく、人口減少と少子高齢化が進む地域社会にとっても有益なことです。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査によると、要介護認定を受けていない高齢者の1割弱～2割弱はボランティアや仕事に月1回以上従事しており、高齢者や子育て中の保護者への支援等で活躍している人もいます。

本市では、社会福祉協議会やシルバー人材センター等の関係機関と連携して高齢者のボランティア活動や就労等の支援に取り組んでいます。今後もこのような取り組みを進め、高齢者に地域のさまざまな活動の担い手として活躍していただけるような仕組みや環境をつくる必要があります。

### ◀ 今後の取組 ▶

#### (1) ボランティアの育成・支援

- 高齢者が充実した生活を送る上で、豊富な経験や知識、技能を活かし、ボランティア活動を通して社会で活躍できるよう、社会福祉協議会のボランティアセンターを支援していきます。
- 県事業の「福岡県70歳現役応援センター飯塚オフィス」の周知を進め、高齢者がボランティア活動や再就職等の多様な選択肢の中から経験や技能、知識を活かすことができる場を見つけられるよう、支援を行います。

#### (2) シルバー人材センターへの支援

高齢者の臨時的かつ短期的な就業、またはその他の軽易な業務に係る就業、並びにその他の社会参加活動を推進することにより、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに活力ある地域社会に貢献できるよう、シルバー人材センターの活動支援に努めます。